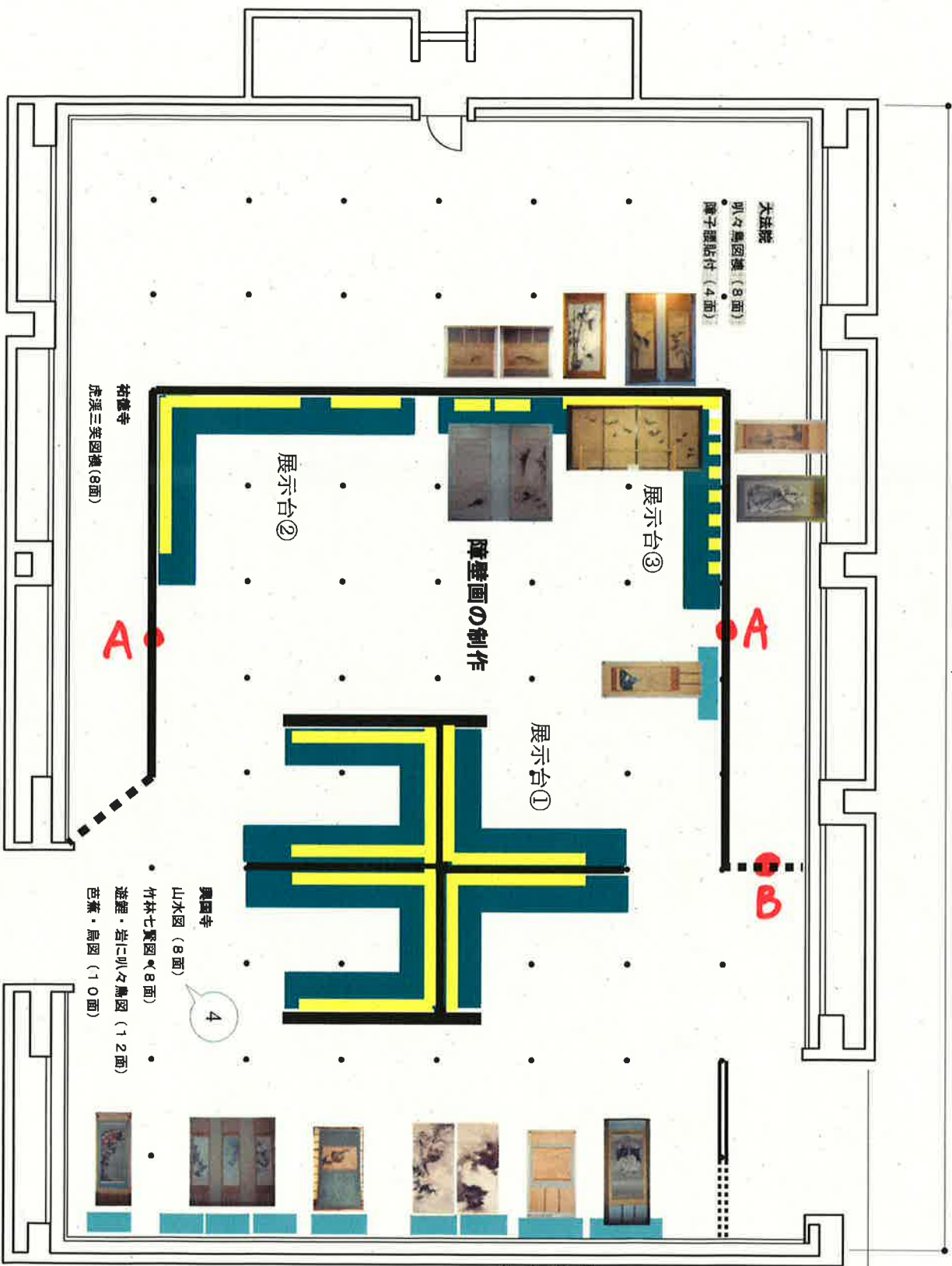


第1特別展示室平面図 (1/100)



28,800

21,600

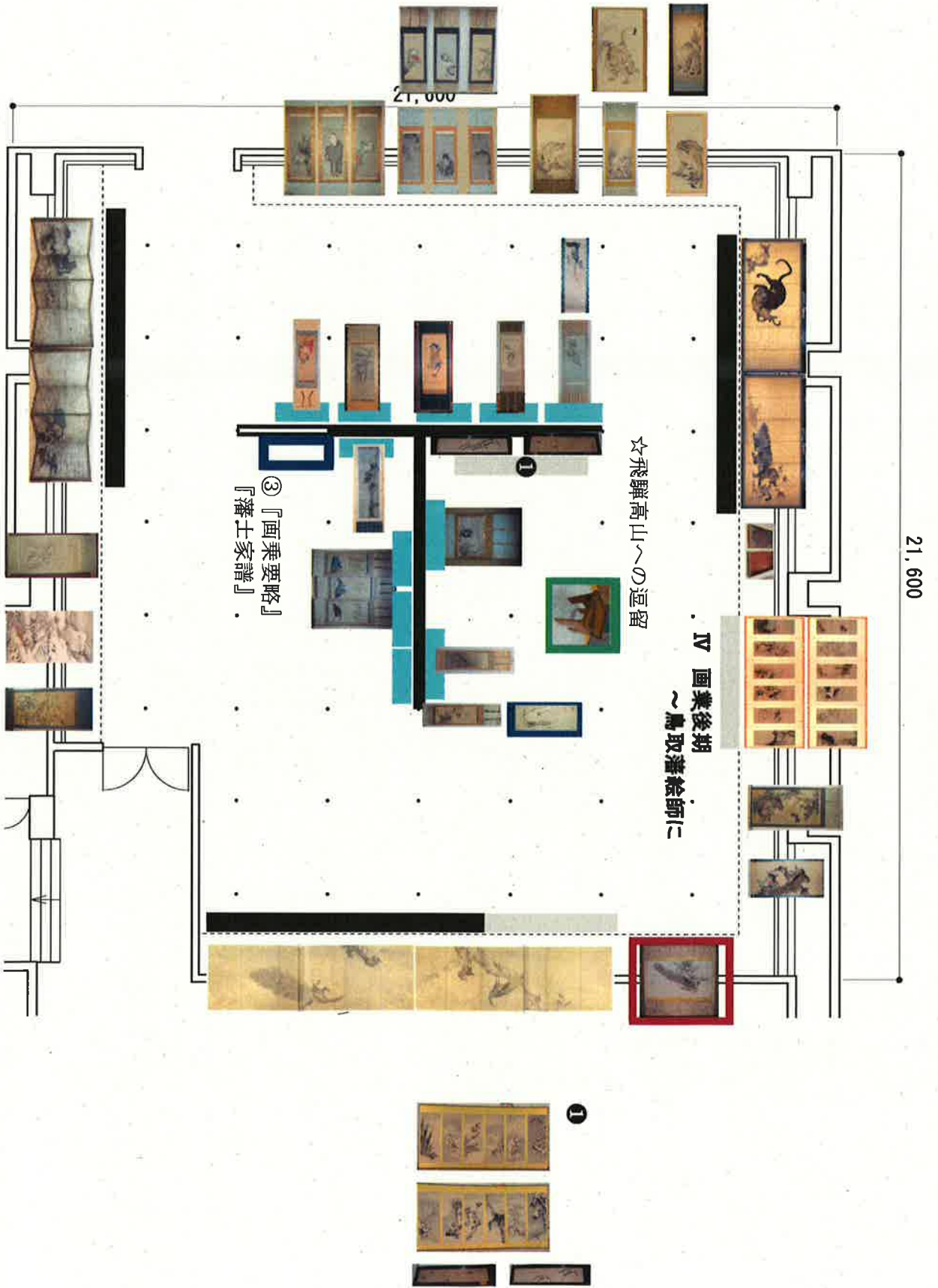
- 華光院(写真)(4枚)
- 武陵桃源図巻(6面)
- 葡萄園金地袋戸(2面)
- 維華院(写真)(4枚)
- 柳絮図巻(2面)
- 竹林七賢図・波に岩図巻(4面)
- 丹雀図巻(4面)

- 4
- 興國寺
- 山水図(8面)
- 竹林七賢図(8面)
- 遊憩・岩に叭々鳥図(12面)
- 芭蕉・鳥図(10面)

- 祐徳寺
- 虎溪三笑図巻(8面)

- 大法殿
- 叭々鳥図巻(8面)
- 障子懸貼付(4面)

第2特別展示室平面図 (1/100)

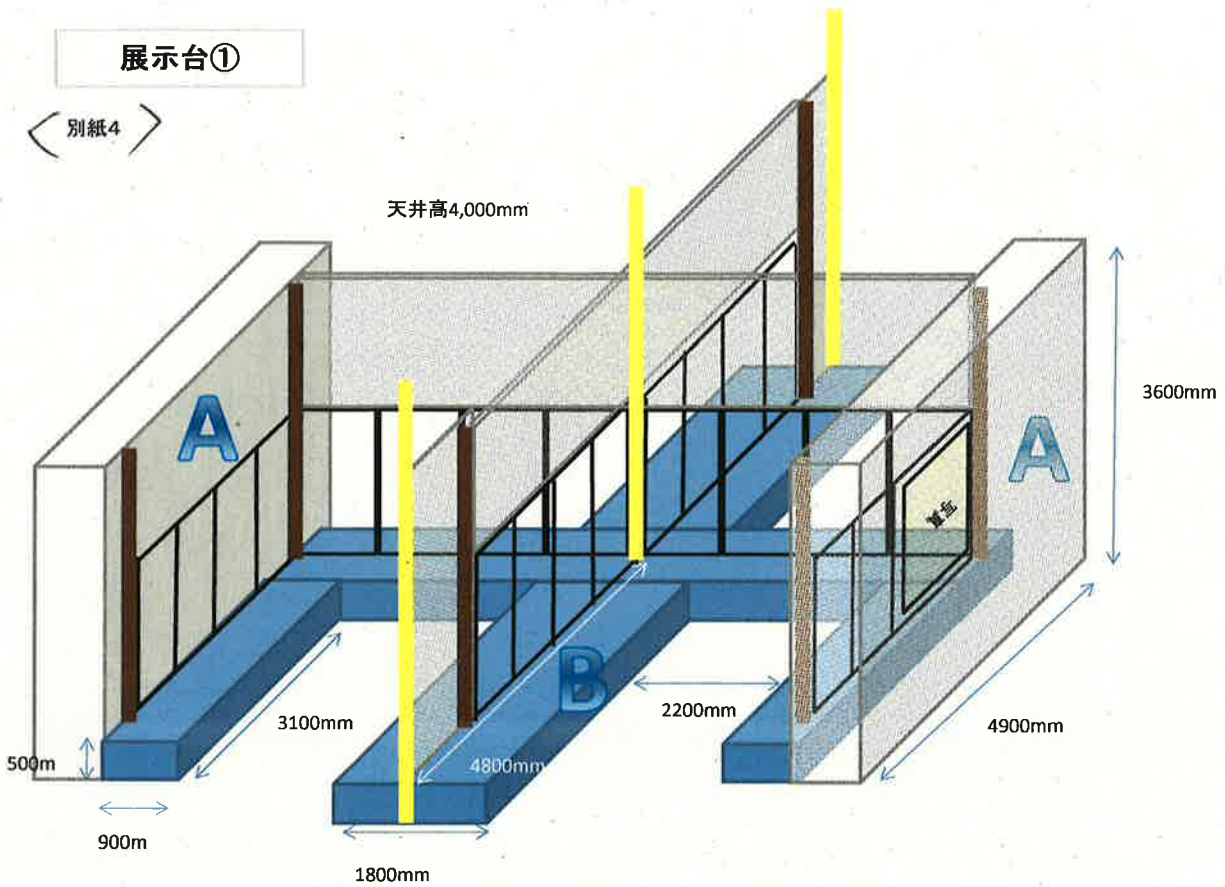


第3特別展示室平面図 (1/100)



## 展示台①

別紙4

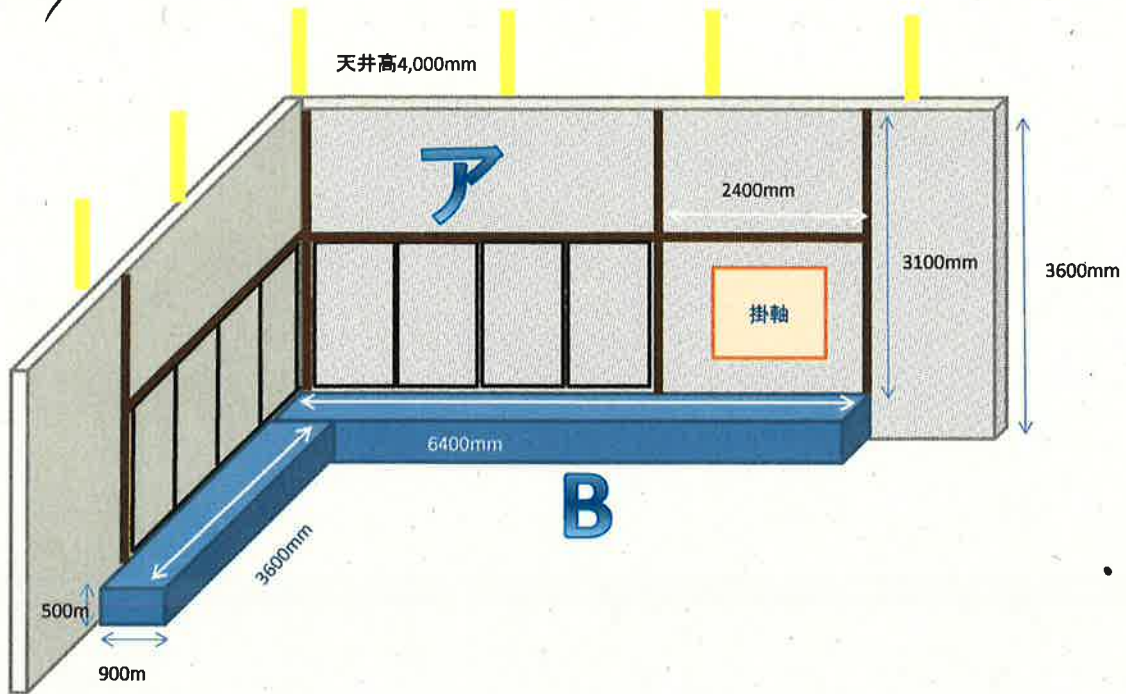


### 展示台①の詳細について

- 襖絵22枚(タテ約1800mm、ヨコ約1000mm)を間取りを再現して陳列する。
- そのうち中央の十字の部分16枚は両面に絵があるため、背面に壁は設けない。
- 上の壁に溝を設けた90mmの角材を取り付け、下の台(B)にも溝を設けて襖絵をはめ込み固定する。
- 中央の3本の柱(黄色い太線)は90mm程度の角材を挟み込み天井に固定する。(見える部分は紙クロスを貼付)
- 6本の柱(茶色い太線)は90mm幅の4mm厚ベニヤ板張りとし、木目調の紙クロスを貼付する。
- Aの壁は高さ3,600mm、長さ4,900mmで、幅の大きさは特に設定しないが、自立できる厚みとし、倒れないよう造作する。表面は紙クロスを貼付する。
- Bは高さ500mm、幅900mmの土台で、材料および構造、個数は特に指定しないが、大人二人が乗って作業できる強度をもたせること。表面仕上げは4mm厚ベニヤ板張りとし、その表面には畳風の紙クロスを貼付するか、畳を設置する。
- 側面仕上げは4mm厚ベニヤ板張りとし、表面には木目調の紙クロスを貼付する。
- 壁面一カ所に、写真データ(データはポジフィルム)の指定部分をプリントアウトし、貼付する。(サイズは1800×2000mm程度)

## 展示台②

別紙5

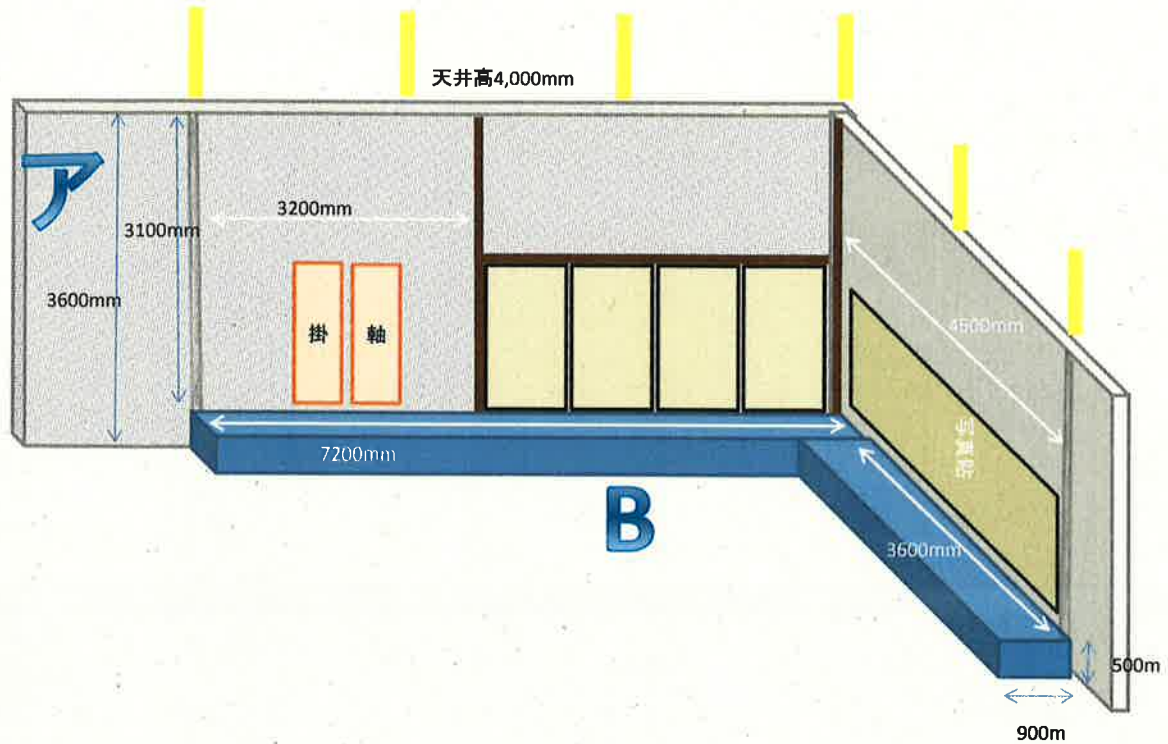


### 展示台②の詳細について

- 襖絵8枚(タテ約1800mm、ヨコ約1000mm)と掛軸1点を間取りを再現して陳列する。
- 壁面Aは通常の仮設壁の一部を利用する。
- 土台Bは展示台①の仕様と同じ。
- 4本の柱(茶色い太線)および掛軸上部の鞆居には90mm幅の4mm厚ベニヤ板張りとし、木目調の紙クロスを貼付する。
- 襖絵4枚は、上の壁に溝を設けた90mmの角材を取り付け、下の台(B)にも溝を設けて襖絵をはめ込み固定する。

### 展示台③

別紙6



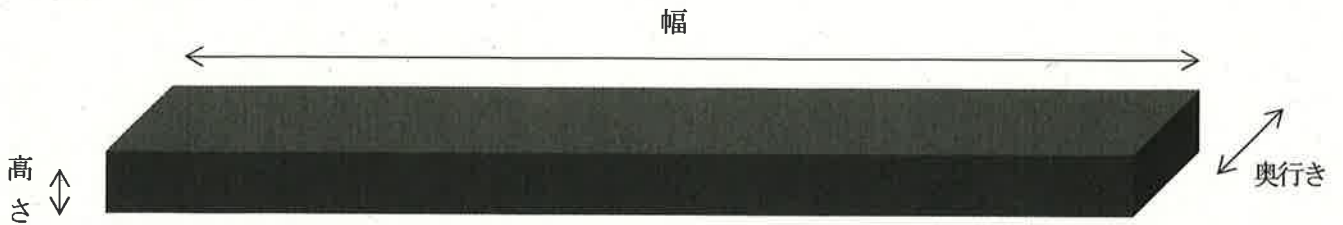
#### 展示台③の詳細について

- 襖絵4枚(タテ約1800mm、ヨコ約1000mm)と掛軸2点を間取りを再現して陳列する。
- 襖絵に隠れる壁面には、仮設壁に貼り付けるものと同様の紙クロスを貼る。
- 壁面Aは通常の仮設壁の一部を利用する。
- 土台Bは展示台①の仕様と同じ。
- 4本の柱(茶色い太線)および掛軸上部と写真貼付部分の鴨居は90mm幅の4mm厚ベニヤ板張りとし、木目調の紙クロスを貼付する。
- 襖絵4枚は、上の壁に溝を設けた90mmの角材を取り付け、下の台(B)にも溝を設けて襖絵をはめ込み固定する。
- 図右側の壁面には、他の仮設壁と同様の紙クロスを貼り、その上に写真データ(データはポジフィルム)の指定部分をプリントした画像を、しわやたわみが無いように固定する(サイズは各1800×4000mm程度)。また、写真を取り外した後に、紙クロスにのりやテープ等の貼り付け後が残らない方法によって、写真を固定すること。

（別紙7）

（別紙7）

【屏風展示用台】



- ・箱形、底面は開口。
- ・木製、5面紙クロス貼り（黒）
- ・60キロ程度の耐荷重性が<sup>必要</sup> ※人が乗ることがあります。

タイプ1・・・2台

幅200cm、奥行45cm、高さ10cm

タイプ2・・・5台

幅200cm、奥行45cm、高さ30cm

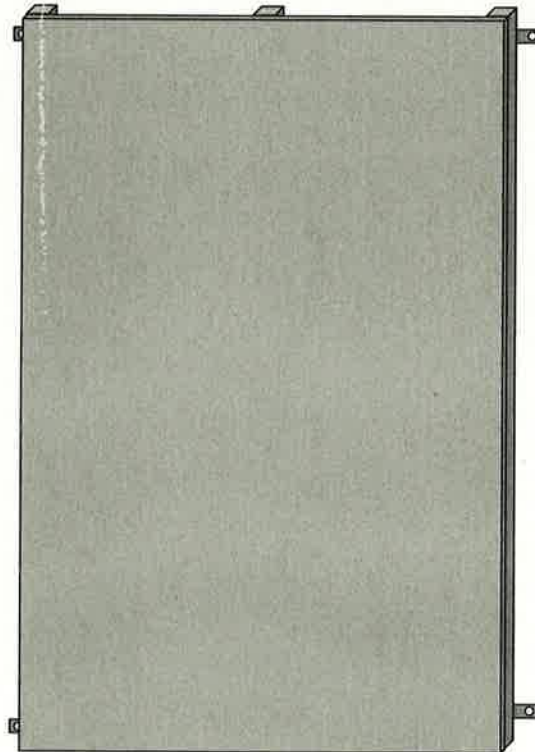
タイプ3・・・1台

幅1100cm、奥行80cm、高10cm

※タイプ3は、大人2人が乗っても十分な強度をもった構造をすること。（現地組み立て可、4面紙クロス貼。）

【色板】

完成イメージ



3面（両側面、正面）紙クロス貼り

< 81368 >

